

標準仕様書

BAN-Fシリーズ

品 名 電気錠制御盤

型 式 BAN-F06C

目次

1.	概要	1
2.	構成	1
2-1.	機器構成	1
2-2.	内蔵オプション	1
2-3.	端末オプション	2
3.	機能	3
3-1.	管理機能	3
3-2.	監視機能	3
3-3.	施解錠機能	3
3-4.	メンテナンス機能	3
3-5.	表示、設定	3
4.	オプション機能	4
5.	警報について	4
5-1.	警報の種類	4
5-2.	警報発生時の動作	4
6.	対応電気錠	5
7.	機器動作・動作モード	6
7-1.	自動施錠モード(Aモード)	6
7-2.	施解錠繰り返しモード(Bモード)	6
7-3.	タイマー保留付き自動施錠モード(PAモード)	7
7-4.	タイマー保留付き施解錠繰り返しモード(PBモード)	7
7-5.	盤面表示	7
7-6.	停電時動作	8
7-7.	火報入力動作	8
7-8.	一斉解錠動作	8
7-9.	インターロック動作	9
8.	入出力	10
8-1.	電気錠制御盤 (BAN-F06C)	10
8-2.	オプション基板(OP-TCR-C)の入出力	11
9.	配線距離	12
9-1.	電気錠制御盤と電気錠アダプター、電気錠	12
9-2.	電気錠制御盤と操作表示器	12
9-3.	デジタルテンキーI/Fユニット・デジタル多回線ユニットとデジタルテンキー	12

9-4.	電気錠制御盤と液晶付テンキーカードリーダー	12
9-5.	電気錠制御盤と顔認証端末	12
9-6.	電気錠制御盤とスリーキー	12
10.	仕様	13
11.	系統図	14

1. 概要

本装置は、6台の電気錠を盤面操作パネルおよび外部入出力により制御および状態監視が可能な制御盤である。

制御盤から電気錠(アダプター)までの配線は2線のため省配線化が実現可能である。

また、タイマーおよびカウンター機能を装備しており、指定した時間帯に扉を解錠することやメンテナンス時に電気錠の使用頻度やエラーの発生頻度を確認することが可能である。

2. 構成

2-1. 機器構成

(1) 電気錠制御盤	BAN-F06C	1台
(2) 2線式電気錠アダプター	BAN-FCMTEL	6台
(3) 電気錠(自動扉)		6台

但し、自動扉の場合は下記のどちらかの電気錠設定とすること。

- a. 自動扉 開扉あり…オプションの自動扉用アダプター(AD-TR-01)が必要である。
- b. 自動扉 開扉なし…電気錠制御盤内リモート出力に接続が可能である。

2-2. 内蔵オプション

(1) デジタルテンキーI/Fユニット	T-3830IF	最大6枚 ※1
(2) デジタル多回線ユニット	G-3830NB	最大2台 ※2
(3) UPS	UPSmini500 II (BF)	最大1台 ※3
(4) オプション基板	OP-TCR-C	最大6枚

※1 : 同じ回線に対してデジタルテンキーI/Fユニット1枚が内蔵可能である。

取付には別途「IF基板組立ユニット」が必要となる。

※2 : デジタル多回線ユニット1台でデジタルテンキーを最大8台接続可能である。

デジタル多回線ユニットを2台内蔵の場合、盤内配置の関係上、デジタルテンキーI/Fユニットは2枚まで内蔵可能である。

デジタル多回線ユニットを1台内蔵の場合、デジタルテンキーI/Fユニットは4枚まで内蔵可能である。

※3 : 本装置専用の接続ハーネスセット添付のタイプが必要である。

2-3. 端末オプション

(1) 操作表示器	B-96タイプ、B-97タイプ	各回線最大5台 ※4 ※5
(2) 2線式操作表示器アダプター	BAN-FCMTS0	各回線最大1台 ※5
(3) デジタルテンキー	T-3830SA	各回線最大2台 ※6 ※7
(4) 液晶付テンキーカードリーダー	R-2810	各回線最大2台 ※7
(5) 顔認証端末	F-5830	(※8) 台
(6) スリーキー	T-3312A	各回線最大2台 ※9

※4 : 対応製品 B-9612F, B-9615F, B-9710F, B-9711F, B-9711FA, B-9712F, B-9712FA

ただし同回線に対してB-9615FとB-9711FAまたは、B-9712FAの同時接続はできない。

※5 : 操作表示器アダプターには最大3台、電気錠制御盤内端子台は最大5台まで
操作表示器を接続可能である。

※6 : デジタルテンキー接続時は「デジタルテンキーI/Fユニット」または「デジタル
多回線ユニット」が必要である。

※7 : いずれか1種類が接続可能である。

※8 : 接続には直流バックアップ電源が必要となる。

直流バックアップ電源 (BPDC24-72) 1台に対し顔認証端末を6台まで接続可能である。

直流バックアップ電源 (BPDC24-144) 1台に対し顔認証端末を12台まで接続可能で
ある。

※9 : スリーキー接続時はOP-TCR-Cが必要である。OP-TCR-Cを使用しない場合は、
暗証番号登録のために専用マグネットタグが必要となる。

3. 機能

3-1. 管理機能

- (1) 6ゲート(電気錠)の制御が可能である。
- (2) ゲートは、運用にあわせて制御モードを選択することが可能である。
(自動施錠(A)モード・施解錠繰り返し(B)モード・タイマー保留付き自動施錠(PA)モード・タイマー保留付き施解錠繰り返し(PB)モード)
- (3) JEM-Aによりインターホン等と連動することが可能である。
- (4) 内蔵のタイマー機能により、回線毎に以下のことが可能である。
 - 1) 設定した時間帯を連続解錠にする。
 - 2) 解錠時間帯を各曜日3つまで設定可能である。

3-2. 監視機能

- (1) 電気錠の状態(扉開閉／施解錠／警報)をリアルタイムに表示することが可能である。
- (2) 電気錠に異常があった場合、警報表示およびブザーで知らせることが可能である。

3-3. 施解錠機能

- (1) 盤面のボタン操作で、電気錠の解錠／施錠が可能である。
- (2) 電気錠の一回解錠時間は1秒～2400秒まで設定が可能である。
- (3) 開扉警報(扉閉め忘れ)は使用しない設定および1秒～999秒、解錠時間+10秒の設定が可能である。

3-4. メンテナンス機能

- (1) 電気錠の動作・各種警報回数を動作カウンターとして記憶することが可能である。
カウンターは動作回数・施錠エラー・解錠エラー・開扉警報・こじ開け、通信異常を個別に確認することが可能である。
- (2) 電気錠アダプター、操作表示器アダプターへの2線通信のテスト機能により通信状態を確認することが可能である。
- (3) 動作回数が20万回以上になるとメンテナンスを促す警告表示をすることが可能である。

3-5. 表示、設定

盤面の小型液晶部に扉の状態表示および設定内容の表示を行う。

4. オプション機能

- (1) オプション基板(OP-TCR-C)により、無電圧リレー接点(解錠・開扉・警報)を出力することが可能である。
- (2) 指定のUPSを内蔵可能であり、その使用により約30分間の停電補償が可能である。
- (3) 操作表示器の操作により、電気錠の遠隔操作(一回解錠または、連続解錠)や状態をリアルタイムに表示することが可能である。
- (4) デジタルテンキー、液晶付テンキーカードリーダー、顔認証端末、スリーキーにより、電気錠の一回解錠が可能である。

5. 警報について

5-1. 警報の種類

表5-1に警報の種類と発生条件／復旧条件を示す。

表5-1. 警報の発生条件と復旧条件

警報の種類	発生条件	復旧条件
開扉警報	一回解錠時、扉を開けてから設定時間経過しても扉が閉まらなかったとき (連続解錠状態を除く)	扉が閉扉したとき、または、電気的解錠操作を行ったとき
コジアケ警報	電気錠が施錠状態で、扉が開いたとき (電気ストライクの場合を除く)	電気的解錠操作を行ったとき
施錠不良警報	電気錠が施錠動作しないとき	電気錠が正常に施錠したとき
解錠不良警報	電気錠が解錠動作しないとき	電気錠が正常に解錠したとき
通信異常警報	一定時間を経過しても電気錠アダプターからの正常な応答がないとき	通信が復旧したとき
短絡警報	ボタンが30秒以上、押し続けられているとき またはワンショット入力力が30秒以上継続しているとき	ボタンを離すまたは配線の調整

5-2. 警報発生時の動作

- (1) 警報発生時には以下の動作を行い、警報を知らせることが可能である。
 - 1) 電気錠制御盤本体のブザーが鳴動する。※10
警報条件の復旧、盤面のブザー停止ボタンの操作にてブザーを停止することが可能である。ブザー停止ボタン操作の後も警報条件が復旧するまで警報状態は継続する。※11
 - 2) 警報表示が点灯、点滅する。
 - 3) 代表警報出力端子があり、警報が発生した時に接点を出力することが可能である。
 - 4) オプション基板(OP-TCR-C)を内蔵することにより、回線毎に警報が発生したときに接点を出力することが可能である。

※10：ブザー鳴動の有無を設定することが可能である。

※11：警報ブザーは設定により30秒後に自動停止させることが可能である。

6. 対応電気錠

表 6－1 に対応する各社電気錠を示す。

表 6－1. 各社電気錠対応表

電気錠タイプ	電気錠種類							
	美和ロック株式会社	株式会社 ゴール	合資会社 堀商店	株式会社 ミネベア ショウワ	ロックマン ジャパン 株式会社	株式会社 シブタニ	株式会社 ウエスト	株式会社 アート
通電時解錠型 電気錠	ALT/ALTA	EST/ESTP	6110			C-EN-55		
	AMT/AMTA	ELT/ELTP	6120			AEN(※12)		
	AUT(※12) /AUTA(※12)	EUT(※12) /EUTP(※12)	6210					
	ALGT50	ESB/ELB	6220					
		ESM/ELM	8100					
		EXM/CMT						
通電時解錠型 電気ストライク	AST	ACS-14	3103/3106					
			3020N					
通電時施錠型 電気錠	ALR/ALRA	ESR/ESRP	6112			C-EE-55		
	AMR/AMRA	ELR/ELRP	6122			AEE(※12)		
	AUR(※12) /AURA(※12)	CMR	6212 6222					
	ALGR50		8102					
通電時施錠型 電気ストライク	ASR	ACS-13	3123					
			3126					
瞬時通電施解錠型 電気錠(有極)	ALA	EXS/EZS	6111			C-ER-55		
	ANS	ETS/CTES	6121					
	AUS	ESS/ELS	6211					
	ALG50		6221					
瞬時通電施解錠型 電気錠(無極)	ALS							
	AMS							
モーター式 施解錠型 本締電気錠	AL3M/AL4M	AHEM	3452	EMX			E05	
	AFF/AFG	EM						
		SXE						
瞬時通電型 電気ストライク			3110					
電磁錠					LC-4500FS			AML200A
					LC-4500DLSS			
					LC-4700DLSS			
					LC-EM275DSS			
採風錠	EL-101					SWL-110-SN (※13)		
自動扉(※14)	・開扉入力ありの場合、自動扉用アダプター(オプション)より信号を入出力する ・開扉入力なしの場合、リモート出力より信号を出力する							

※12：AUT/AUTA/AUR/AURA，EUT/EUTP，AEN/AEEは同一電気錠のため、錠種の設定をする場合には電気錠側の設定状態も確認のこと。

※13：各回線3台まで接続可能である。

※14：電気錠の設定モードで開扉入力あり／なしを選択可能である。

7. 機器動作・動作モード

7-1. 自動施錠モード(Aモード)

(1) 一回解錠

一回解錠操作および一回解錠入力を行うと、電気錠を解錠時間だけ解錠し、扉の開閉動作後に電気錠を自動施錠する。

(2) 連続解錠

1) 連続解錠ボタンを押下すると電気錠を解錠する。

2) 連続解錠中は扉の開閉動作にかかわらず電気錠を解錠状態のまま保持する。

3) 解錠中に連続解錠ボタンを押下すると電気錠を施錠する。

なお、開扉状態で連続解錠ボタンを押下した場合は電気錠を施錠せず、その後に閉扉状態となった時点で電気錠を自動的に施錠する。

(3) タイマー解錠

1) タイマーがON状態時は電気錠を解錠する。

2) タイマーがOFF状態時は電気錠を施錠する。

なお、開扉状態でタイマーがOFF状態となった場合、一回解錠状態となり閉扉状態となった時点で電気錠を自動施錠する。また、タイマーがON状態の場合、タイマーによる解錠が優先され、一回解錠、連続解錠操作による施錠は実行されない。

7-2. 施解錠繰り返しモード(Bモード)

扉を開閉しても自動的に施錠されず、操作により施錠／解錠を繰り返す。

(1) 解錠ボタン(一回解錠ボタン)

解錠ボタンを押下すると電気錠を解錠する。

なお、解錠すると扉の開閉動作にかかわらず電気錠の解錠状態を保持する。

(2) 施錠ボタン(連続解錠ボタン)

施錠ボタンを押すと電気錠を施錠する。

なお、開扉状態で施錠ボタンを押下した場合、電気錠は施錠しない。

(3) 施解錠の入力

インターホン、JEM-A、デジタルテンキー、液晶付テンキーカードリーダー、顔認証端末、スリーキー、操作表示器入力がON状態となると、電気錠が解錠状態であれば施錠し、施錠状態であれば解錠する。

なお、開扉状態で施解錠入力がON状態となっても電気錠を施錠しない。

(4) タイマー解錠

- 1) タイマーがON状態となると電気錠を連続解錠し、解錠表示灯を点灯する。
- 2) タイマーがON状態時は扉の開閉動作にかかわらず解錠状態を保持する。
- 3) タイマーがON状態からOFF状態となると電気錠を施錠する。

なお、開扉状態でタイマーがOFF状態となった場合、一回解錠状態となり閉扉状態となった時点で電気錠を自動施錠する。また、タイマーがON状態の場合、タイマーによる解錠が優先され、他の施錠操作による施錠は実行されない。

7-3. タイマー保留付き自動施錠モード(PAモード)

本体電源投入後に保留解除操作(人による解錠操作)が行われるまで、タイマー動作(内蔵タイマー)を一時的に保留する。

- (1) 電気錠制御盤、操作表示器、デジタルテンキー、液晶付テンキーカードリーダー、顔認証端末を操作することにより保留を解除する。
- (2) 保留解除(人による解錠操作)後は設定に応じたの通常動作となる。

7-4. タイマー保留付き施解錠繰り返しモード(PBモード)

本体電源投入後に保留解除操作(人による解錠操作)が行われるまで、タイマー動作(内蔵タイマー)を一時的に保留する。

- (1) 電気錠制御盤、操作表示器、デジタルテンキー、液晶付テンキーカードリーダー、顔認証端末を操作することにより、保留を解除する。
- (2) 保留解除(人による解錠操作)後は設定に応じたの通常動作となる。

7-5. 盤面表示

(1) 電源表示

AC100V電源動作時は緑点灯、電源OFF時は消灯する。

UPS動作時は赤点灯に切り替わる。

(2) 開扉表示

開扉時に開扉表示灯を赤点灯し、閉扉時に消灯する。

(3) 解錠表示

点灯色のパターンを以下の2種から選択が可能である。また、一回解錠時は点滅する。

- a. 施錠時：緑 解錠時：赤（デフォルト設定）
- b. 施錠時：消灯 解錠時：緑

(4) 警報表示

警報状態時に警報表示灯を橙点灯、橙点滅し、警報を復旧すると消灯する。

7-6. 停電時動作

内蔵オプションのUPS使用により停電時に設定された回線の電気錠を自動的に解錠することが可能である。UPSを接続していない場合は使用する電気錠種によって動作が異なる。詳細は各種電気錠の仕様を確認のこと。

UPSを使用しない場合での停電時の各電気錠タイプの動作を以下に示す。

- 1) 通電時解錠型：施錠する。室外から解錠したい場合は鍵を使用のこと。
- 2) 通電時施錠型：解錠する。停電時に施錠することはできない。
- 3) 瞬時通電型：停電発生時の状態保持。室外から施解錠したい場合は鍵を使用のこと。
- 4) モーター錠：停電発生時の状態保持。室外から施解錠したい場合は鍵を使用のこと。

7-7. 火報入力動作

- (1) 火報入力が入ると、設定されている回線の電気錠は連続解錠状態となり、非常リセット表示灯が赤点灯し、警報ブザーが鳴り続ける。
- (2) 火報入力が切れた状態で、非常リセットボタンを押すと、火報入力により連続解錠状態となった電気錠は火報入力が入る前の状態に戻り、非常リセット表示灯は消灯する。

7-8. 一斉解錠動作

- (1) 一斉解錠入力
一斉解錠入力が入ると、設定されている回線の電気錠は連続解錠状態となり、一斉解錠表示灯が赤点灯する。
- (2) 一斉解錠ボタン
 - 1) 一斉解錠ボタンを押すと、設定されている回線の電気錠は連続解錠状態となり、一斉解錠表示灯が赤点灯する。
 - 2) 再度、一斉解錠ボタンを押すと、一斉解錠ボタンにより解錠された電気錠は一斉解錠ボタン操作以前の状態に戻り、一斉解錠表示灯は消灯する。

7-9. インターロック動作

- (1) 設定によりインターロック動作が可能である。※15 ※16
- (2) インターロック動作とは複数の扉が同時に開扉状態とならないよう制御する運用である。
- (3) 1～4回線、5～6回線内での最大4回線×2の組み合わせが可能である。
- (4) インターロック動作モード

1) 解錠スタート

平常時は解錠／閉扉である。同一グループ内において1ゲートが開扉すると他のゲートが自動施錠し閉扉すると解錠状態に戻る。

2) 施錠スタート

平常時は施錠／閉扉である。同一グループ内において1ゲートがテンキーなどにより解錠／開扉している間は、他のゲートの解錠ができない。

※15：設置環境により他のゲートの施解錠が遅延する可能性がある。

※16：インターロックを使用する場合、制御盤～電気錠アダプター間にCPEV-S 0.9-3Pでの配線が必要である。

8. 入出力

8-1. 電気錠制御盤 (BAN-F06C)

(1) 一斉解錠入力

入力で電気錠を一斉解錠する場合に使用する。電気錠を一斉解錠させる。

(2) 火報入力

入力で電気錠を一斉解錠する場合に使用する。電気錠を一斉解錠し、ブザーを鳴動させることが可能である。

非常リセットボタンの操作は火報信号が復旧した後に有効となる。

(3) 一斉タイマー入力

一斉タイマー入力に接続することで全回線一斉に電気錠の解錠および施錠を時間制御することが可能である。(この時、内部タイマーは使用不可)

(4) 一回解錠入力

操作表示器等からの入力で電気錠を一回解錠する場合に使用する。

(5) 連続解錠入力

操作表示器等からの入力で電気錠を連続解錠する場合に使用する。

(6) タイマー入力

各回線のタイマー入力に接続することで回線毎に外部タイマーでの制御が可能である。
(この時、内部タイマーは使用不可)

(7) インターホン入力

解錠ボタン付きインターホンを電気錠制御盤に接続してインターホンからの操作によって、電気錠を解錠することが可能である。

入力がメイクしている間は解錠を継続し、ブレイク後は一回解錠動作に移行する。

(8) リモート出力 (自動扉出力)

警備システムと連動する場合に使用する。

a. 電気錠を電氣的に解錠すると、無電圧接点をメイク出力 (ON) する。

b. 電気錠が施錠閉扉を検知した約 2 秒経過後に無電圧接点をブレイク出力 (OFF) する。

c. 電気錠設定で自動扉・開扉なしに設定した場合は、自動扉出力に切り替わる。

(9) 電源表示出力

操作表示器等の電源表示灯を点灯させる場合に使用する。

(10) 開扉表示出力

操作表示器等の開扉表示灯を点灯させる場合に使用する。

(11) 解錠表示出力

操作表示器等の解錠表示灯を点滅または点灯させる場合に使用する。

(12) 代表警報出力

警報が発生した時に接点を出力することが可能である。

(1 3) JEM-A入出力

JEM-A(日本電機工業会)標準HA端子—JEM-Aに準拠したHAインタフェースとする。

8－2．オプション基板(OP-TCR-C)

(1) 解錠接点出力

設置した回線の電気錠が解錠すると解錠接点を出力する。

(2) 開扉接点出力

設置した回線の扉が開扉すると開扉接点を出力する。

(3) 警報接点出力

設置した回線の警報が発生すると警報接点を出力する。

(4) パルス入力

設置した回線のスリーキー接続時に使用する入力である。

9. 配線距離

9-1. 電気錠制御盤と電気錠アダプター、電気錠

- (1) 電気錠制御盤と電気錠アダプター間に使用するケーブルはCPEV-S 0.9-1Pとする。
- (2) 電気錠アダプターと電気錠間に使用するケーブルはCPEV 0.9-3Pとする。
- (3) 電気錠制御盤から電気錠までの配線距離は最大150mとし、電気錠アダプターはその間のどの位置に配置しても可とする。

9-2. 電気錠制御盤と操作表示器

- (1) 電気錠制御盤の端子台に接続する場合のケーブルはCPEV 0.9-3Pを使用する。
- (2) 操作表示器アダプターを使用する場合、電気錠制御盤と操作表示器アダプター間に使用するケーブルはCPEV-S 0.9-1Pとする。
- (3) 電気錠制御盤から操作表示器までの配線距離は最大150mとし、操作表示器アダプターはその間のどの位置に配置しても可とする。

9-3. デジタルテンキーI/Fユニット・デジタル多回線ユニットとデジタルテンキー

- (1) ケーブルはCPEV-S 0.9-1Pを使用する。
- (2) デジタルテンキーI/Fユニット・デジタル多回線ユニットからデジタルテンキーに接続する導線の配線距離は最大100mとする。

9-4. 電気錠制御盤と液晶付テンキーカードリーダー

- (1) ケーブルはCPEV 0.9-2Pを使用する。
- (2) 電気錠制御盤から液晶付テンキーカードリーダーに接続する導線の配線距離は最大150mとする。

9-5. 電気錠制御盤と顔認証端末

- (1) ケーブルはCPEV 0.9-1Pを使用する。
※電源は別途CPEV 0.9-1Pを使用し、オプションの直流バックアップ電源またはバッテリー装置より供給。
- (2) 電気錠制御盤から顔認証端末に接続する導線の配線距離は最大150mとする。

9-6. 電気錠制御盤とスリーキー

- (1) ケーブルはCPEV 0.9-3Pを使用する。
- (2) 電気錠制御盤からスリーキーに接続する導線の配線距離は最大100mとする。

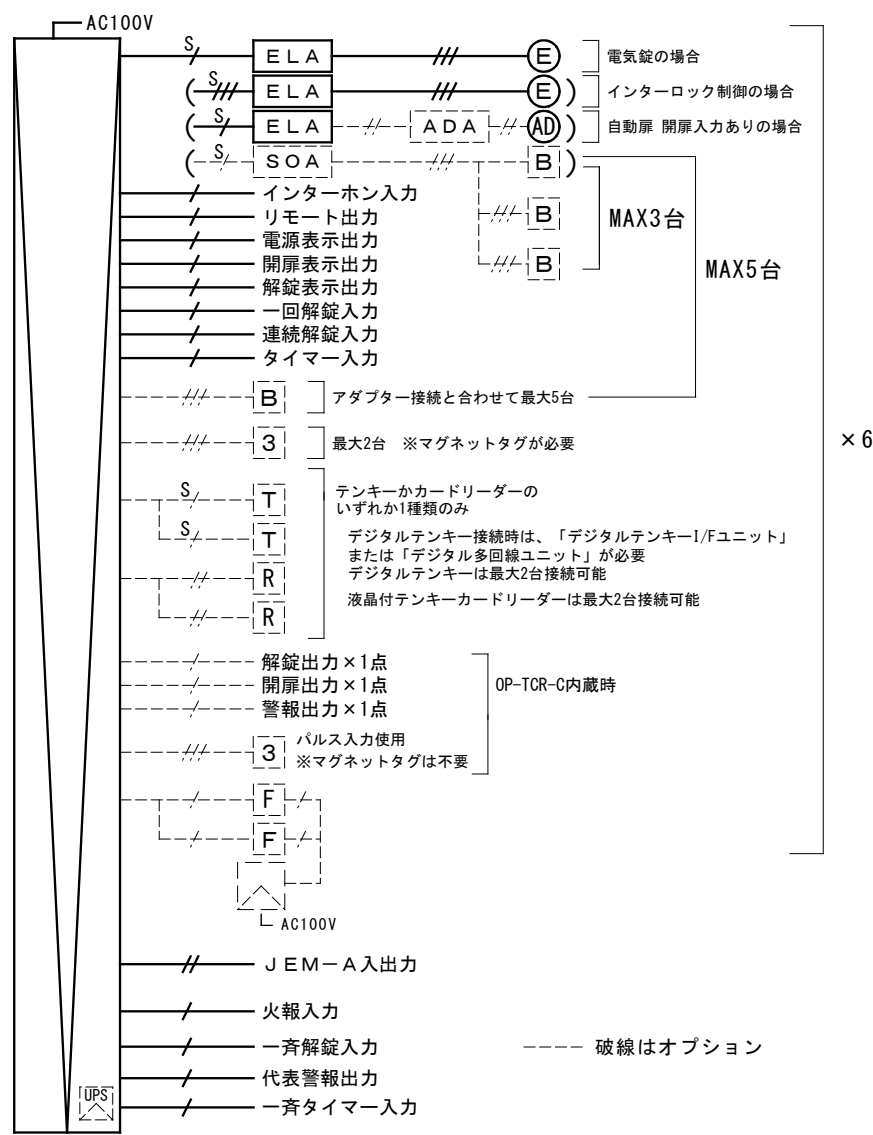
10. 仕様

BAN-F06Cの仕様を表10-1に示す。

表10-1. BAN-F06C仕様

構成機器	最大回線数	6回線			
	外形寸法	500(W) × 700(H) × 100(D) mm (ハンドル部含まず)			
	筐体	S10-57C(日東工業(株)製)			
	材質・筐体色	板金 t=1.6 マンセル 2.5Y9/1 半艶			
	重量	約21.9kg (オプション品を除く)			
機能仕様	電気錠設定	LCD画面操作により設定			
	解錠時間	LCD画面操作により1秒～2400秒まで任意設定可能			
	開扉警報時間	LCD画面操作により1秒～999秒または解錠時間+10秒で設定可能			
	表示	電源表示灯 (赤／緑)	電源動作時：緑点灯 UPS動作時：赤点灯		
		開扉表示灯 (赤)	扉が開いている状態で点灯		
		解錠表示灯 (赤／緑)	電気錠が一回解錠している状態で点滅 電気錠が連続解錠している状態で点灯 点灯パターン ①解錠時：赤、施錠時：緑 (設定で切替) ②解錠時：緑、施錠時：消灯		
		警報表示灯 (橙)	開扉警報／解錠不良／施錠不良／コジアケ／通信異常で点灯／点滅		
		一斉解錠表示灯 (赤)	一斉解錠時に赤点灯		
		非常リセット表示灯 (赤)	火報入力がある場合に赤点灯		
	操作スイッチ	一回解錠スイッチ	タクトスイッチ	(回線毎)	
		連続解錠スイッチ	タクトスイッチ	(回線毎)	
		一斉解錠スイッチ	タクトスイッチ	(1点)	
		ブザー停止ボタン	タクトスイッチ	(1点)	
		非常リセット	タクトスイッチ	(1点)	
		電源スイッチ	スライドスイッチ	(盤内 1点)	
		制御盤設定用スイッチ	タクトスイッチ	(盤内 9点)	
	ブザー	電子音	75db	(盤内 1点)	
電源・外部入出力	外部入力	一斉解錠入力	無電圧a接点 連続	(1点)	接点容量DC24V 0.1A以上
		火報入力	無電圧a接点 連続	(1点)	同上
		一斉タイマー入力	無電圧a接点 連続	(1点)	同上
		一回解錠入力	無電圧a接点 ワンショット	(回線毎)	同上
		連続解錠入力	無電圧a接点 連続／ワンショット切替	(回線毎)	同上
		タイマー入力	無電圧a接点 連続	(回線毎)	同上
		インターホン入力	無電圧a接点 ワンショット	(回線毎)	接点容量DC24V 0.1A以上 (接点連続メイク中は解錠状態を保持、接点ブレイク後に1回解錠状態に移行)
		外部出力	リモート出力 (自動扉出力)	無電圧a接点 連続 (回線毎)	接点容量DC24V 0.3A以下 (自動扉 開扉入力なしの設定時に出力切替)
	外部入出力	電源表示出力	オープンコレクタ	(回線毎)	DC24V 20mA以下
		開扉表示出力	オープンコレクタ	(回線毎)	同上
		解錠表示出力	オープンコレクタ	(回線毎)	同上
		代表警報出力	無電圧a/b接点	(1点)	接点容量DC24V 0.3A以下
		解錠接点出力	無電圧a/b接点	(回線毎)	同上
		開扉接点出力	無電圧a/b接点	(回線毎)	同上
		警報接点出力	無電圧a/b接点	(回線毎)	同上
	オプション基板 (OP-TCR-C)	パルス入力	スリーキー接続用		
		JEM-A入出力	制御入力	無電圧a接点 ワンショット (回線毎)	接点容量DC24V 0.1A以上
			モニター出力	オープンコレクタ (回線毎)	接点容量DC24V 10mA以下
	電源／消費電力	AC100V±10% 50/60Hz 100VA			

1 1. 系統図



—凡 例—				
制御盤	電気錠	液晶付テンキーカードリーダー	— / —	CPEV 0.9-1P
電気錠アダプター	自動扉	顔認証端末	— // —	CPEV 0.9-2P
操作表示器アダプター	操作表示器	直流バックアップ電源	— /// —	CPEV 0.9-3P
自動扉アダプター	スリーパー		— S / —	CPEV-S 0.9-1P
U P S (内蔵)	デジタルテンキー		— S /// —	CPEV-S 0.9-3P

図 1 1 - 1. 電気錠制御盤の基本系統図

・ARTロゴは、株式会社アートの登録商標です。

・その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。